

歩 ～あゆみ～

共生と創造 ～ あじさい看護福祉専門学校の教育理念 ～

あじさいは、性質の異なったひとつひとつの花が集まって一輪の花となる。

人もまた人として生まれ、人間となるために、社会、文化の影響を受けて自らも構成員として環境を創造していく。これはあたかもあじさいが、陽光や水を受けて、土壌(環境)の変容を受け止め、その色や形が自在に変化していく様にも似ている。花は水の青になじみ、誰にも好かれ、和をもって一輪の花となる。看護・介護もまた、人と人との出会いではじまり、共に生き、創造していくものである。

学生はあじさいの如く、人との交流を通して変容し、自己の内にエネルギーを育んでいく。

そして、将来個人との相互交流を豊かにし、個人に応じた看護・介護が創造できるエネルギーを持ち続けることが重要である。

ここに共生と創造を謳う。

なお、あじさいは美濃加茂市の花である。

ケニア・1日3食プロジェクト 報告会開催!



学校給食を始めることができました。

ご協力ありがとうございました。

ASANTE SANA!

I am very much thankful for what you have done for us. You have brought many projects to our school. Compound one is the biggest poultry farming farm, shop and also other things that we have done so far. As a student of the poultry farming, I much grateful to you. Before I would like to be in Japan, I would also like to tell you people that farmers that we have are growing and we are all taking care of them. I would like to be a farmer in Japan.
KENJI AGUCHI



from OKANJA primary School in KENYA

10月24日(水)に青年海外協力隊HIV対策員として2年間、ケニアで活動した看護学科卒業生の加藤由美さんの帰国報告会が異文化ケアの講義の一環として開催されました。

ケニアでの生活やたくさんの人々との出会いを紹介しながら2年間の活動を振り返り、「日本に産まれたことは、とても恵まれたこと。日本では当たり前のことがうまくいかない国の方が多い。この経験を今後どう活かして生きていくのかは自分次第」「日本は本当に豊かで努力すれば変えていける社会」と力強く後輩に語りかけた。

また、1日3食の食事のままならない現地の子どもの栄養改善を目的とした

「1日3食の食事を!学校から地域へ広げる貧困家庭生徒の栄養改善プロジェクト」を立ち上げ、本校生徒の活動により集められた募金(約45万円)により現地の小学校に羊や鶏の家畜小屋や畑を整備し、収穫した作物で学校給食を開始することができたことを報告し、プロジェクトの成功と学生への感謝を述べた。

学生は「加藤さんのように世界で活躍する先輩がいることを誇りに思う。私達も常に広い視野を持ち、将来、看護師として世界で活躍したい!」と熱く講義の感想を語った。

加藤由美さん、2年間の活動本当にお疲れさまでした。今後の更なる活躍を期待しています!

Contents

- ▼ ケニア・1日3食プロジェクト報告会
- ▼ TOPICS
 - 看護: 地域生活支援 南陽寺
 - 介護: 車椅子体験
- ▼ ギョーカイなう ACLSレポート
- ▼ 全校交流スポーツ大会
- ▼ ころろ@あじさい
- ▼ 看護・介護に役立つ頭の体操
- ▼ 在校生からのメッセージ
- ▼ 入学試験のご案内

歩 ～あゆみ～

TOPICS

看護学科 ～Nursing～ 地域生活支援 南陽寺



看護学科2年生は、地域生活支援の教科の一環として、地域における看取りの場・在宅ホスピスの役割を学ぶため、加茂郡八百津町の南陽寺(臨済宗妙心寺派)を訪問しました。

はじめに南陽寺 小笠原住職より在宅での看取りについて講演いただき、訪問看護ステーションすかい 遠藤所長より看取りの看護についてアドバイスをいただきました。

その後、南陽寺で心のケアを受けながら、大切な肉親を在宅で看取られたご家族の体験談を伺い、学生はハンカチで涙をぬぐいながら話に聞き入りました。ご家族からは、「厳しい看護の道を選んだ皆さんがまず健康であることが大切であり、患者を元気にしてくれる」と励ましをいただいた。

昼食には住職お手製の精進料理が振る舞われ、ご家族の皆さんと精進鍋を囲みながらお話を伺い、素晴らしい時間を過ごしました。これから更に厳しい看護の道を歩む上での大きな節目の一日となりました。

介護福祉学科 ～Welfare～ 車椅子体験

介護福祉学科1年生は、美濃加茂市内の各施設で車椅子体験を行いました。

「障がいを持つ人にとっても持たない人にとっても、住みやすい街とはどういうものかを考えることができる」という目的を持ち、車椅子で生活する方の行動を想定し、グループ毎に行動計画を立て、課題を持って公共施設、ショッピングセンター等で車椅子体験を行い、「バリアフリー化で車椅子に配慮しているところはあるが、まだまだ不十分である」「エレベーターや通路の広さ、段差、トイレの使用し易さ等公共施設や企業のバリアフリーに対する取り組みの差が浮き彫りになった」等実際に体験することでしか得られない貴重な学びを獲得しました。

後日、「望ましい街とはどのようなものか」「どのような環境や支援をすることが必要か」等をグループ毎にまとめ、発表を行いました。



ギョーカイなう！ ACLSレポート

救命・災害医療の第一線で活躍されている木沢記念病院 救急部門長 山田実貴人先生による「ゼミナール ACLS」の講義・実技演習を受講しました。学生はすでにBLS(胸骨圧迫と人工呼吸からなる心肺蘇生とAEDの使用が主である一次救命処置)や救急看護を学んでおり、その内容を踏まえてしっかり事前学習を行った上で、より高度な二次救命処置であるACLSの講義に臨みました。

BLSの復習から先生や可茂消防の救命救急士の方々から胸骨圧迫・気管挿管等の手技の指導を受け、いままで曖昧であった部分が整理され救急看護への意識の高まりと、これまでの学びをより深める貴重な講義となりました。

「ACLS(二次救命処置)」の体験を通し、急変した患者様に対しどう判断して、どう行動をおこしていくかとても深い学びになり、今後超急性期の状態にある患者様への対応に自信がついた。その一方で今後学ばなければいけない課題を多く見つけることができた。学びを深め、冷静ですばやい対応で看護の力を発揮していき病める多くの人々を救っていきたいと思った。看護学科2年 真喜屋 未来



全校交流スポーツ大会 in みのかも健康の森

毎年恒例の秋の全校交流スポーツ大会がみのかも健康の森で開催されました。「今 あじさいが ひとつに なる」をスローガンに掲げ、学科・学年・学生と教職員の垣根を取り払い、グループ毎にスタンプラリーや大縄跳び・障害物リレー等各種競技に挑戦しました。777段の階段登りではふらふらになりながらも互いに励まし合い、何とか皆が頂上に到達し、普段なかなか味わうことのできない清々しい達成感を味わいました。始まる前は名前も知らなかった学生同士が交流をはかり、終わる頃にはすっかり意気投合し、仲良しになりました。

まさに「あじさいがひとつ」になったスポーツ大会でした。



教職員によるリレーコラム 第9回 こころ@あじさい

看護師になり日々忙しく働いていた頃、患者さんから最期に送られた言葉が今の私の生き方に影響を与えています。その言葉は次のようなものでした。「いろんな事を経験しなさい。とくに若いうちはいろんなものを見て、感じて感性を養いなさい。それが将来のあなたを豊かにするのだから。人生を楽しみなさい。」とても心に響き、そんな言葉に従い、一生懸命に生きようと思いました。いろんな事に興味を持ち、一度きりの人生を楽しもうと決めました。

仕事は一生懸命に働きます。しかし、仕事ばかりではつまらない。人生楽しまなくちゃ！ですから。だからONとOFFの切り替えは意識的にしています。

OFFの私は、お芝居を観たり、好きなアーティストのライブに出かけたりしています。今はEXILEですね。これまでの人生、休みもお金も人には言えないほどに費やしていますが、いいこともたくさんありました。まず、たくさんの友達ができました。そして、方向音痴なのに遠方まで運転できるようになりました。地図も読めます。電車の時刻表を見ることも大好きです。楽しみがあると思うと病気なんてしてはいられません。おかげでほとんど風邪をひきません。家族に言わせればとても人生を楽しんでいるようです。

これからも一度きりの人生を一生懸命に楽しみながら過ごしていこうと思います。

看護学科教員 松本 美嘉



看護・介護に役立つ ★ 頭の体操 ★

数学

問. 1800mlの点滴を24時間で終了したい。1ml=60滴の点滴セットでは、1分間に何滴で滴下したらよいか。

国語

問. 下線の語句を、漢字はひらがなに、ひらがなは漢字に直しなさい。

- ①肩をだっきゅうした
- ②解熱鎮痛剤を飲む
- ③こうかん神経が強く働く

答えは最後のページ、一番下にあります。

在校生からのメッセージ

看護学科3年 吉田 知世

岐阜県立東濃実業高等学校 卒



私たちは、第102回看護師国家試験に向けて取り組んでいます。普段の学習や模試の結果などから自分たちの弱点を把握し、「誘惑に負けないぞ！チーム」「継続するぞ！チーム」というように5～6人ずつのグループ分けをして、対策や勉強方法を考えて取り組んでいます。私は「記憶力UPするぞ！チーム」で、まずグループ1人1人がなぜそう感じているのかを分析し、どうすれば改善するのか自分たちで考え、そして先生方の指導のもとに学習方法を掴んでいきました。また、グループ内に模試の成績の上がらない人が居れば、どの分野が苦手なのか、どのように問題を解いているのか、読み間違いはどうかと細かく傾向を出し、まずは読み間違いをなくすために文章の語尾に線を引いて強調したり、番号の横に必ず○×△と記号をつけて自信のないものは後から見直すというように対策をして、グループ全体で向上していけるように支えています。また、グループによって、休日でもダラダラしないようにお互い連絡を取り合って図書館やメンバーの家で勉強をし、一人が疑問に思うことがあれば全員で調べ、自分も学びを共有し合えるように工夫もしています。

現在は、理解しにくい疾患や検査などを明らかにして、先生方にゼミナールを開いていただいています。わからないところは分かるまで教えて頂き、問題の解き方、理解の仕方のコツも学んでいます。後1カ月半、三年間学んだ糧とクラスの仲間、先生方を支えに国家試験合格のために頑張ります。

介護福祉学科2年 安江 祐三子

岐阜県立八百津高等学校 卒



早いものであじさい看護福祉専門学校に入学して二年が経とうとしています。最後の実習を終え、私達はひとまわりもふたまわりも大きく成長し、今日を迎える事ができたと感じています。

実習では、利用者様の生活に関わらせていただき、お一人おひとりの思いに触れ、介護の担い手として、利用者様の思いを心で感じとることの大切さを学ばせていただきました。

また、人生の折り返し地点を過ぎた私にとって、かけがえのないたくさんの仲間ができたことは何物にもかえがたい宝物となりました。悩んだりつらかったりしたとき、皆で励まし合い一つずつ乗り越えてきたことが昨日のことに思い出されます。

私達のクラスは年齢層が広く、それぞれに良い刺激をし合いお互いに高め合ってきました。私はあじさいに入学し、このクラスで勉強できたことを最高に誇りに思います。

春には皆が新しい道を歩むことになります。あじさい看護福祉専門学校で学んだ貴重な学びを胸に刻み、社会に出て、人を思うことの大切さ、思いにそっと寄り添う優しさを忘れることなく、学びを深めていこうと思います。



入学試験のご案内



看護学科

入試区分	願書受付期間	試験日
一般②	1月15日～2月12日	2月16日(土)
一般③	2月18日～3月4日	3月9日(土)
社会人②	1月15日～2月12日	2月17日(日)
社会人③	2月18日～3月4日	3月9日(土)

介護福祉学科

入試区分	願書受付期間	試験日
一般③	12月10日～1月18日	1月27日(日)
一般④	1月21日～2月15日	2月24日(日)
一般⑤	2月18日～3月8日	3月16日(土)

学校見学随時受付中（要予約）



学校法人あじさい学園 あじさい看護福祉専門学校

〒505-0022 岐阜県美濃加茂市川合町4-6-8

TEL: (0574)28-2131 FAX: (0574)28-2130

<http://www.ajisai.ac.jp>

e-mail: info@ajisai.ac.jp

携帯サイトはこちら

